

群馬・相馬原

## 日米共同実動演習「フォレスト・ライト」

# 自衛隊員のコロナ感染者が7人に拡大 参加者全員のPCR検査を



危険なオスプレイを使った演習は中止を

日米共同実動演習「フォレスト・ライト」が12月7日から18日まで陸自の群馬県相馬原演習場と新潟県関山演習場で、米軍オスプレイが参加しておこなわれています。

安保破棄群馬県実行委員会は13日、演習場入り口で訓練の中止などを求める抗議行動をおこないました。この演習では12日までに参加している自衛隊員7人のコロナ感染が確認されています。同実行委員会から演習の情報やこの間のとりくみが報告されました。

☆

12日朝のマスコミ各紙は、日米共同訓練参加

の自衛隊第30普通科連隊（新潟県新発田町）から相馬原に派遣された隊員からコロナの陽性者がでたことが群馬県から発表されました。

安保破棄群馬県実行委員会は、900人もの自衛隊員、米海兵隊員の移動訓練はコロナ感染拡大の危険があると繰り返しPCR検査を行うことを要請してきました。防衛省は「体温測定や手指の消毒、ソーシャルディスタンスを守ることをしていれば大丈夫だ」と言ってきましたが、13日夜の報道では自衛隊内の感染者は7人になったそうです。PCR検査の社会的検査を広く行うことが、新型コロナウイルスを早くに発見し、保護・隔離することを明らかにしたことだと言えます。

基地内で隔離して対応しているようですが日米共同訓練は中止し、一刻も早く参加者全員のPCR検査をおこない、感染者を見つけ保護・隔離する対応が求められています。

## ボーリング調査の準備開始 鹿児島・馬毛島の軍事基地化反対

米空母艦載機離着陸訓練（FCLP）の移転候補地である鹿児島県馬毛島の周辺海域でのボーリング調査について、防衛省は12月13日、機材の搬入の準備を始めました。海上ボーリング調査は栈橋などの港湾施設を造るための地盤の強度を確認するものです。仮設足場設置などで漁場が破壊されるため、地元の漁業者17人が東京地裁に調査の中止を求める仮処分を申し立てています。馬毛島を軍事基地化させないために反対しましょう。

米軍兵士とオフロード車  
伊佐真次村撮影



発見者から連絡を受けた日本共産党の伊佐真次東村議が同日午10時頃現場に到着。米空軍所属とみられる兵士3人とピクアップトラック1台、オフロード車2台を確保しました。伊佐村議らに米兵は「これは訓練だ」昨日（7日）の午

現場は、小学校や村営住宅が立ち並ぶ集落を通り抜ける細い道沿い。伊佐村議は、米軍の通行で事故が起きる危険性も指摘し「米軍は」何をやるでも許されると思ってるのではないかと厳しく批判しました。 日付） ほんぶん赤旗 12月9

沖繩県東村高江の民有地で米軍が訓練を行っていたことが8日、明らかになりました。民有地に

沖繩 高江

# 米軍が民有地で訓練

## やりたい放題」事故の危険

テントが張られているのを同日朝、通りかかった住民が発見しました。現場は原野で特に被害はありませんでしたが、地権者はやりたい放題で訓練をさせたらおかしいと話したといっています。

現場は、小学校や村営住宅が立ち並ぶ集落を通り抜ける細い道沿い。伊佐村議は、米軍の通行で事故が起きる危険性も指摘し「米軍は」何をやるでも許されると思ってるのではないかと厳しく批判しました。 日付） ほんぶん赤旗 12月9

## お知らせ

- 12月23日（水）安保中央・東京の宣伝 新宿西口12時～
- 1月27日（水）2021年度幹事会（総会）全労連会議室14時～
- ※2月13日（土）2021年学習と運動交流の集い（オンライン）